

地域を守るためにあなたのチカラをかしてくれませんか？

集え！地域の防災リーダー

消防団は地域の防災や災害時の活動に無くてはならない存在ですが、本市における消防団員数は年々減少しています。火災のほか、近年多発している地震や豪雨などの自然災害に対応するため、市では地域を守る消防団員を募集しています。



こんな活動もしています

消防団は、火災だけでなく、地震や台風などの災害が発生したときに消防本部と一体となって、消火活動や救出活動、避難誘導などを行います。

また、新年恒例の「消防出初式」

や火災予防運動期間中に防火夜回りを行うほか、訓練や講習会も行います。



秋季合同訓練

訓練は「春季合同訓練」「秋季合同訓練」と年2回の大きな訓練や、救急講習会などがあります。

地域を災害から守る

小樽市消防団では、地域に密着した防災機関として「わがまちを災害から守る」という使命感のもと、防災のための活動をしています。市内には、地域の防災リーダーとして18歳から70歳まで、約430人の消防団員が在籍。職業も自営業、会社員、学生などさまざまで、女性の消防団員も活躍しています。

消防団は市内を18の地区に分け、それぞれの区域を分団として管轄しています。

消防団の活動には、年間の活動報酬に加え、災害や訓練に出動した際の手当が支給されます。このほかに、一定期間以上勤務し、その後退団した場合には「退職報償金」も支給されます。

市では、学生消防団員の就職活動

大規模災害想定訓練を7月1日に行いました



この訓練には新入団員15人を含む約100人の消防団員が参加し、震度6の地震が発生したことを想定した救助訓練や炊き出し訓練などを行いました。



がれきの撤去と要救助者の救出訓練



レスキューキッチンによるカレーの炊き出し訓練



訓練に参加した消防団の皆さんにお話をお聞きしました

- ・近所の方から頼りにされ、役に立つことができとてもやりがいがあります
- ・懇親会なども行っていて、団員同士が家族のような雰囲気です
- ・地域の防災に少しでも興味のある方はぜひ参加してください！

を支援するため、一年以上活動した方の活動実績を認証する学生消防団活動認証制度を実施しています。また、消防団の備品も整備しており、昨年からの活動服や手袋を更新するなど、団の待遇改善に向けた取り組みも行っています。

近年多発する集中豪雨や地震等の大規模災害では、消防職員と消防団員が協力して活動しなければなりません。仕事や学校、プライベートも大切にしながら、無理なく「できることを、できるときに」の姿勢で、まずは参加してみませんか。

消防団員になるには

入団を希望する方は、消防本部総務課消防団担当へご連絡ください。自宅または職場、学校の管轄区域の分団に入っていたいただくこととなり、担当者および分団長（責任者）と面談をし、所定の手続きを経て消防団員となります。不明な点がありましたら消防本部総務課までご連絡ください。

小樽市消防団はあなたの「チカラ」を必要としています。

◆お問い合わせは、消防本部総務課 ☎ 29130、FAX 29182 へどうぞ。